11-③ 言葉とその意味

＜言葉とその意味＞(P267~)

-人生を定義してはならない

人間は愛してもいないのに愛について演説をぶち、慈善の心などないのに慈善についてお喋りし、地上的な儲けについて考えているのに天国の問題を論じる。フレンド教会の創立者、ジョージ・フォックス（イギリスの説教

言葉はそれらの公言するところのものを所有してはいなかった。

ととから言葉の崇拝という問題がでてくる。自由を希求する人々の陥ってはならない影である。調子の高い、理想主義的な匂いのする言葉は、偽りの自己が使う隠微なトリックであり、物を本物として提示する。言葉の崇拝

われわれは言葉のあそびをはるかに遠く超えて、基本的な心的全一性へ、ウソを言わない誠実さへ、宇宙的意識へと赴こうとしているのである。われわれはそれ以外のなにものをも欲せず、また必要としない。

愛以外のものはすべて言葉でしかない。（アバス・エフェンディ）

われわれはまず、内的な生命活動を説明しようとするとき、言語というものの不適切さを噛みしめよければならない。にとえば、この本で何度も使ってきた、『識出また避職という用語をどう定義づけたらよいのか? まあ、

最善のものは言葉では説明され得ないのだ。（レオ・トルストイ）

言語に対するあなた自身の反応を見守るとよい。ある種の言葉は強い情緒を誘起する。セックス、金、神、愛、憎いみなど。だが、とのとき、あなたはあなたの獲得された、それらの物事についてのアイディアに、その単な

数人のハイカーが、彼らの行とうとする方向を指示した道標のところへ来たとする。だが彼らは、先へすぐには進まず、道標そのものについて文句をつけ合った。一人は、道標はもうーフィート高く設けられるべきだという

われわれま、スーパーマインドへの道で出会う道標を、立ち止まってあげつらっていたのでは、先へ進むことはできない。言葉は言葉であってそれ以上のものでもそれ以下のものでもない。人が神についてしばしば語ったが

もしあなたが完全になりたいのだったら、決して神についてお喋りをしてはならない。

人生を定義しようとしてはいけない。あなたが、もし人生をばからしいと呼ぶとすれば、あなたは人生があなただけの特殊な観点に従った意味あるものでなければならないと主張しているのである。

もしあなたが人生は意味ぶかいと主張するとすれば、なにか予期しない出来事が起こって、あなたの快適な現状を覆えしたら、あなたはすぐに気持ちが変るに違いない。むずかしく思索することはよしたがよい。生をそのあ

スーパーマインドの宇宙真理に従って生きよ。われわれのしなければならぬことはただそれだけだ。他になすべき何を求める必要があろうか? このフリーな境地にいれば、あなたの一日ははからしくもないし、意義深くもな

Revision #2
Created 7 November 2024 07:15:54 by ゆう
Updated 7 November 2024 07:19:27 by ゆう